

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號四第 卷八十第

行發日一月四年三十正大

故戸田海市博士肖像并に哀詞

論叢

虞夏書に見^はる政治經濟思想……………法學博士 田島 錦治

階級の動學的考察……………文學博士 高田 保馬

獨逸最近の社會學論……………文學博士 米田庄太郎

植民地の經濟政策に就きて……………法學博士 山本美越乃

時論

不景氣と租稅……………法學博士 神戸 正雄

說苑

一子相續制度に就いて……………經濟學士 八木芳之助

客觀的勞賃論の史的發展……………經濟學士 森 耕二郎

雜錄

戸田博士逝く ○戸田海市君の追懷(西田幾太郎) ○戸田博士を憶ひ

て(福田德三) ○戸田君の追懷(神戸正雄) ○追憶の斷片(河上肇) ○戸田

博士と私 河田嗣郎) ○戸田先生を憶ふ(小島昌太郎) ○戸田博士と大阪

市労働調査事業(關 一)



戸田海平

大正十三年三月五日、本會評議員京都帝國大學教授戸田海市君病ヲ以テ卒去ス。

君、資性學ヲ好み、兼テ經世ニ志アリ。二豎早クヨリ累ヲ作セシモ、終生研鑽倦ムコトナク、又絶エズ時事ニ留意シテ、其ノ所見ヲ當世ニ實現センコトヲ期セリ。後半世殊ニ意ヲ我國經濟政策ノ研究ニ致シ、其ノ公ニセル論著頗ル多シ。何レモ立論ノ周到ニシテ實務ニ適切ナルヲ特色トナシ、久シク斯界ノ實トセシ所ナリ。

君、職ニ京都帝國大學ニ在ルコト、前後正ニ二十有三年、常ニ諄々然トシテ諸生ニ授業シ、後進ヲ指導スルコト極メテ懇切ナリ。又其ノ研究ノ餘ニ成レル論說ハ、殆ド毎月之ヲ本誌ニ寄せ、爲ニ其ノ

重キヲ加ヘタルコト幾許ナルヤヲ知ラズ。本誌創刊以來將ニ九年、今日ノ聲價、君ニ負フトコロ實ニ少シトセザル也。

嗚呼、天若シ君ニ賦スルニ尋常ノ健康ヲ以テセバ、其ノ學術界并ビニ實際界ニ貢獻セシトコロ、更ニ量ルベカラザル者アリシナランニ、惜イ哉、腸ニ病ヲ獲テヨリ既ニ歳久シク、今ヤ遂ニ溘焉トシテ簣ヲ易ヘ、空シク其ノ蘊蓄ヲ九泉ノ下ニ齎ス。何ゾ悼惜ノ情ニ耐ヘンヤ。

茲ニ敬ミテ君ノ遺影ヲ掲ゲ、且ツ哀衷ヲ抒ベ、以テ君ノ本會ニ致サレシ功績ヲ記念スルノ意ヲ表ス。